

農 研 速 報

平成 26 年 8 月 28 日発行
茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室
〒301-0816 茨城県龍ヶ崎市大徳町 3974
TEL 0297-62-0206 FAX 0297-64-0667

作物名(大豆)

県 名	生育ステージ		生育の状況	問 題 点	これまでに講じた対策 及び今後の方針
	本 年	平年対比			
茨 城 県 (龍ヶ崎市)	タチナガハ 莢伸長期～ 粒肥大期	4 日早い	<p>7 月第 6 半旬から 8 月第 5 半旬の気象概況は、平年と比較して日平均気温が 0.7℃高く、日照時間は平年比 132%、積算降水量は平年比 51%であった。 (龍ヶ崎アメダスデータ。平年値は直近 5 ケ年の平均値)</p> <p>現在の生育状況は平年と比較して以下の通りである(表、図 1)。 「タチナガハ」 開花期は平年より 4 日早い。タチナガハの主茎長および主茎節数は平年並で、分枝数は多く、茎は太い。地上部生体重は平年比 114%で重い。株あたりの着莢数は平年より少ない。</p> <p>「納豆小粒」 開花期は 2 日早い。主茎長および主茎節数が平年をやや上回り、分枝数が多く、茎は太い。生体重は平年比 132%で重い。株あたりの着莢数は平年より少ない。</p> <p>気温がやや高く多照で推移したことから、生育量が平年より上回るとともに開花が早まったと考えられた。さらに、降水量が平年比 51%とかなり少なく推移したことが着莢数に影響を及ぼしたと推察された。</p>	特になし	<p>●病虫害防除をこれまでに 2 回実施した。 〔・ 莢害虫防除：8/12, 8/20〕 〔・ 紫斑病防除：8/20〕</p> <p>◆品質低下要因のひとつである紫斑病の防除時期は、開花初めから 10～40 日後である。1 回散布の場合、防除適期は開花約 25 日頃であることから、適期防除に努める。</p> <p>※病虫害の発生動向の詳細については、病虫害防除所ホームページを参照する。 (http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/byobo/)</p>
	納豆小粒 着莢期～ 粒肥大期	2 日早い			

表 生育診断調査(8月25日調査、播種後67日)

品種	開花期			主茎長			主茎節数			分枝数			茎の太さ		
	本年 (月日)	前年差 (月日)	平年差 (月日)	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (節)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (mm)	前年比 (%)	平年比 (%)
タチナガハ	7月28日	-4	-4	59.4	81	97	14.3	96	104	4.7	109	115	11.4	102	108
		(8月1日)	(8月1日)		(73.6)	(61.0)		(14.9)	(13.8)		(4.3)	(4.1)		(11.2)	(10.6)
納豆小粒	8月4日	-2	-2	84.2	91	106	17.9	100	107	9.5	123	148	11.7	104	110
		(8月6日)	(8月6日)		(92.1)	(79.4)		(17.9)	(16.8)		(7.7)	(6.4)		(11.2)	(10.6)

品種	地上部生体重			一株莢数		
	本年 (g/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (莢/株)	前年比 (%)	平年比 (%)
タチナガハ	265	92	114	90	92	87
		(288)	(233)		(98)	(104)
納豆小粒	339	113	132	157	103	80
		(300)	(257)		(153)	(197)

試験場所: 農業研究所水田利用研究室内圃場(龍ヶ崎市、中粗粒灰色低地土)。

()内は前年値又は平年値。平年値は直近5ヵ年分(平成20年~25年、平成24年は天候不順により播種期が7日遅れたため除外)のデータの平均値。

茎の太さ: 第1節(子葉節)と第2節(初生葉節)の中間で最も太い部分を測定した。

耕種概要: 6月19日播種、11.1株/㎡(畦間60cm×株間15cm)1本立て、施肥量: N-P₂O₅-K₂O: 0.3-1.2-1.2(kg/a)



図1 農研水田利用研究室圃場における生育状況(8月25日撮影)

播種日: 6月19日、栽植密度: 11.1株/㎡(畦間60cm×株間15cm)1本立て、施肥量(kg/a): N-P₂O₅-K₂O=0.3-1.2-1.2